

入間市政概要

令和6年度

入間市議会事務局

入 間 市 民 憲 章

－昭和49年6月1日制定－

わたくしたちは、武蔵野の自然にめぐまれた入間市を愛し、より明るく、豊かな文化のまちをつくるため、ここに市民憲章を定めます。

- 1 自然を愛し、環境のよいまちをつくりましょう。
- 1 きまりを守り、平和な住みよいまちをつくりましょう。
- 1 健康で働き、希望にみちたまちをつくりましょう。
- 1 教養を高め、心豊かなまちをつくりましょう。
- 1 お互いにたすけあい、やすらぎのあるまちをつくりましょう。

市 章



この市章は、入間市の「入」を若鷲に形どり、円は市の円満、融和と団結を表わし、中央の白い部分は市の将来の永遠なる発展と躍進を象徴している。

市の花 「茶の花」



市の特産物である「狭山茶」を象徴するにふさわしい花である。

新茶の頃茶畑は、まるで緑のじゅうたんを敷きつめたようである。茶の花は秋に咲く。

市の木 「ケヤキ」



市内に多く自生している木であり、新緑、紅葉そして葉を落とした姿は雄大であり、人々を楽しませてくれる。

市の鳥 「ヒバリ」



武蔵野に舞う、のどかな感じのある鳥「ひばり」。

毎年、初夏になるとさえずりながら舞い上がる姿は、広く市民に親しまれている。

人間市の歌

能登浜吉 作詞

宮沢章二 補作詞

学校法人

武蔵野音楽学園 作曲

小森昭宏 編曲

Moderato 明るく

The musical score is written on four staves. The first staff begins with a treble clef, a common time signature (C), and a key signature of one sharp (F#). The tempo and mood are indicated as 'Moderato 明るく'. The lyrics are written below the notes. The second staff continues the melody. The third staff has a 'f' (forte) dynamic marking and a 'V' (crescendo) marking. The fourth staff concludes the piece with a double bar line.

か ぜ - さ わ や か - な い る ま の に
さ え ん の み ど り か - が や い て
は ず ん で
の ぞ み ひ ろ が る ふ る さ と よ あ あ う つ く し い, い る ま し
に す む - し あ わ せ を わ け あ お う

一、風さわやかな 入間野に

茶園さえんのみどり 輝いて

望みひろがる ふるさとよ

ああ 美しい 入間市に

住むしあわせを わけあおう

二、伸びゆくまちに 自治映はえて

寄せ合う英知 結ぶ手に

若さみなぎる ふるさとよ

ああ 和なごやかな 入間市に

文化の花を 咲かせよう

三、秩父の峰を 仰ぎみる

けやきの空に 幸を呼び

夢もあふれる ふるさとよ

ああ 安らぎの 入間市を

豊かな愛で はぐくもう

どこから来たの？

作詞・作曲・編曲：杉山勝彦 歌：丸山純奈

あなたは どこから来たの？
僕はね、、、と言いかけて
浮かんで来たのは あの日の
君の姿でした

茶の葉が光ってる うねを
数えて歩いた坂道
里山 町並みに いざなわれ
君だけに 打ち明けた 夢

大きな街ではないけれど
たったひとつのふるさと
君と無邪気に過ごす日々で
幸せを見つけたんだっけね

下りの電車のホームで
見かけた 今の君は
ちょっぴり元気がないよね
夕日が沈んでく

静かに下ろされたシャッター
大好きだった店の匂い
さみしく 思ってるだけじゃなく
今僕に できること 探している

君はどこへ向かっているの？
素敵な未来だと良いな
僕にも手伝いをさせてね
君の代わりはいないから

どこから来たの？
そうだ、僕はね、、、

大きな街ではないけれど
たったひとつのふるさと
君と無邪気に過ごす日々で
幸せを見つけたんだっけね Ah

君はどこへ向かっているの？
素敵な未来だと良いな
僕にも手伝いをさせてね
君の代わりはいないから
たったひとつのふるさと

ラララ、、、
たったひとつのふるさと

どこから来たの？ dance remix～入間でしょ～

ダンスリミックス版

作詞・作曲・編曲：杉山勝彦

Rap 詞：イルマニア MCMA 歌：R!N with イルマニア MCMA

hey whats up!
俺がパーリーピーポー代表 イルマニア
MCMA「あーい」

I LOVE 入間 I LOVE 入間

あなたは どこから来たの？
「いるまー！！！」
僕はね、、、と言いかけて「ves」
浮かんで来たのは あの日の
君の姿でした「あーい」

茶の葉が光ってる うねを
数えて歩いた坂道「on」
里山 町並みに いざなわれ
君だけに 打ち明けた 夢「here we go！」

大きな街ではないけれど
たったひとつのふるさと
君と無邪気に過ごす日々で
幸せを見つけたんだっけね
（おーい！おーい！...）

(MCMA verse)
I LOVE 入間 来てみな？いつか
土地が安い田舎の基本
茶畑だらけの町並みの中
アメリカ 香る ジョンソントウン
コストコ アウトレット
「すごいだろお」あーい
みんな感じる 居る価値が
あるから住んで いる町さ
何でもあるぜ 入間には
最高だろ？ イルマニア！

下りの電車のホームで「ふうー」
見かけた 今の君は「おおー」
ちょっぴり元気がないよね
夕日が沈んでく

静かに下ろされたシャッター
大好きだった店の匂い「LOVE！」
さみしく 思ってるだけじゃなく
今僕に できること 探している
「here we go！」

君はどこへ向かっているの？
素敵な未来だと良いな
僕にも手伝いをさせてね
君の代わりはいないから「come on」
（おーい！おーい！...）

どこから来たの？
そうだ、僕はね、、、
LOVE ラブリーいるま！

大きな街ではないけれど
たったひとつのふるさと
君と無邪気に過ごす日々で
幸せを見つけたんだっけね Ah

「Once again let's go！」

君はどこへ向かっているの？
素敵な未来だと良いな
僕にも手伝いをさせてね
君の代わりはいないから
たったひとつのふるさと
（おーい！おーい！...）

everybody say!!
ラララ、、、
入間！入間！
たったひとつのふるさと

ふるさと納税は入間市へ



どこから来たの？

作詞作曲 杉山 勝彦

1 2 3 4 5

6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50

あなたは どこから きたのー
ぼくはね いい かけ て うかんで きたのは
あ の ひのー きみのすがたでしたー ちゃのは が ひかっている
うねを かぞえて あるいたさ かみち さとやま まちなみに
いざなわれー きみだけに うちあけた ゆめ
おおきなまちでは ないけれど たった ひとつのふーるさと
きみとむじゃきにす ごすひびで しあわ せを みつ けたんだっけ
ね 2. <だりの でんしゃの
ホームでー みかけた いまの きみ は
ちょっぴり げんきが ない よねー ゆうひがしすんでく
ー しすかに おろされた シャッ ター だいす き だったみせ
の はおい さみし く おもっている だけじゃなくー いま
ぼくに できる こと さ が している きみは どこへむか

50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94

っているの すて き なみ ら い だとい い な ぼくにもてつだい
をさせてね きみ の かわ り は い ない から ど こ か ら
き た の そ う だ ぼくは ね ー
おおきなまちでは ないけれど たった ひとつのふーるさと
きみとむじゃきにす ごすひびで しあわ せを みつ
けたんだっけ ね ア ー ー きみは どこへむか
っているの すて き ねみ ら い だとい い な ぼくにもてつだい
をさせてね きみ の かわ り は い ない から たった ひとつ
の ふーる さ と ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ
ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ
ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ
ラ ラ ラ ラ たっ た ひ と つ の ふーる さ
と ア ア ア ー

いるま音頭

徳永松雄 作詞

平山忠夫 補作詞

小沢直与志 作曲・編曲



一、ハー武蔵野の 深い緑の懐に
白い茶の花 香る里

愛の歩道を 二人で行けば
招く可愛い 揚げひばり ソレ

みんな輪になつて 踊ろじやないか
いるま音頭で ソレソレ ヨーイトナ

二、ハー秩父嶺を 遠く仰いで育んだ
瞳あかるい その笑顔

次の世代の郷土をになう
若い仲間が 手をむすぶ ソレ

みんな輪になつて 踊ろじやないか
いるま音頭で ソレソレ ヨーイトナ

三、ハー青空に 伸びるケヤキの梢には
夢が大きく ゆれている

今日も栄える 町並み染めて
恵み豊かな 陽が昇る ソレ

みんな輪になつて 踊ろじやないか
いるま音頭で ソレソレ ヨーイトナ

四、ハー入間川 心やすらぐ せせらぎは
いつも倅せ 唄ってる

古い歴史と 進んだ文化
現在と過去を つなぐ川 ソレ

みんな輪になつて 踊ろじやないか
いるま音頭で ソレソレ ヨーイトナ

市 制 施 行	昭 和 4 1 年 1 1 月 1 日
位 置	東 經 1 3 9 ° 2 3 ′
	北 緯 3 5 ° 4 9 ′
面 積	4 4 . 6 9 k m ²
人 口	総 数 1 4 4 , 2 6 2 人
	男 7 1 , 2 4 7 人
	女 7 3 , 0 1 5 人
世 帯 数	6 8 , 1 7 5 世 帯
人 口 密 度	3 , 2 2 8 人 / k m ²

(令和6年4月1日現在)

目 次

第 1 編	総 説	1
第 2 編	議 会	6
第 3 編	総 務	1 3
第 4 編	財 政	4 4
第 5 編	民 生	5 9
第 6 編	環 境 ・ 衛 生	8 5
第 7 編	経 済	9 0
第 8 編	建 設	1 0 2
第 9 編	水道事業・下水道事業	1 1 0
第 1 0 編	教 育	1 1 7